

ティーチング・ステートメント

所属 保健医療学部 義肢装具学科

名前 三富 菜々

作成日 2021年3月9日

【責任】

義肢装具学科に所属し、義肢装具士に関わる専門科目を中心に教育活動を行っている。具体的には、義肢装具の製作に必要な専門的知識に関わる授業や実際に製作を行う実習の授業を担当している。さらに、「義肢装具士」という仕事を知ってもらうためのオープンキャンパス、国家試験合格に向けた国家試験対策、1年生の担任を務めている。

【理念】

学生には、社会の一員として一般的な常識を持ったうえで、自分の力で生活できるようになってほしいと考えている。もちろん国家試験に合格し、義肢装具士の資格をとって、目の前の患者さんに最適な義肢装具提供とは何かを考えることができ、使用者さんに提供した義肢装具が本当に役に立っているのか評価できる義肢装具士になってもらいたいと考えている。しかしながら、中には製作会社に勤める一般的な義肢装具士に魅力を感じなかったり、将来どのような道に進むべきか迷う学生もいる。そのような学生をそのままにせず、次の道を見つけられるように可能性を広げる必要がある。

【方針・方法】

・国家試験に合格するための授業を行う

義肢装具士になるには、国家試験に合格する必要があるため、国家試験合格に向けた学習に取り組ませる必要がある。そのためには各授業間での内容を確認し、この授業で修得したこの知識は、ここに繋がるということを教えることで、知識の広がりを実感させ、知識の定着に繋がってくる。また、学生によっては、文章を読み取る力を付けるための学習が必要になる場合があるので、国家試験のための専門的知識とは別に、取り組まなければいけない課題を見つけ出す必要がある。

・学生のモチベーションの維持

実習を通して、座学で学んだことがどう生かされるのかを再現してみせること、実際のモノとなり形になることで、この仕事の面白さを実感してもらう。その際に、上手くいったところを褒めて伸ばし、上手くいかなかったところは、なぜ上手くいかなかったのか、学生自身に考えさせ、説明し改善策の提案をおこなわせる。さらに、臨床での経験を伝え、教科書では知ることのできない部分を教えることで、将来像を具体的に想像できるようにする。

また、実習は座学ではみえない学生の様子が見られるため、それらも見逃さないようにし、必要に応じて直接本人に伝えるようにする。例えば、掃除に積極的に取り組んでいる学生や、困っている学生に声をかけている学生がいれば、そういうことがとても大事であり、それができるあなたは素晴らしいということを伝える。また、生活が乱れ遅刻が目立つ学生、服装が乱れている学生には、それがなぜいけないのか、何につながってくるのか、ということを説明し、改めてもらうきっかけを作る。

これらを通して、義肢装具士がどういう仕事なのかということを学生に実感させることで、義肢装具士になるということのモチベーションを維持できるようにする。その中でも、義肢装具士になることに前向きでない学生に対しては、孤立させるのではなく、まずは雑談から話を聞きだすようにし、この学科で学ぶ意義、いわゆる一般的な義肢装具士になる必要はないということを伝え、卒業する、社会に出ていく、就職する、というモチベーションを維持できるようにする。

・義肢装具士、義肢装具学を学んだ学生の将来の可能性を広げる

義肢装具士、または義肢装具学科を出ている学生が活動できる場が多くあることを学生に伝える。また、活躍できそうな業界に義肢装具士という仕事を売り込み、就職活動の場や機会を増やすことが必要となる。

・教育者としての成長

わたし自身、教育の職に就くのが初めてで、経験も1年足らずであるため、自分がどういう教育者になりたいのか、なれるのか、なるべきなのかが明確ではない。そのため、まずは自分のできることを探し、周りの先生方に相談させていただきながら、成長していきたい。その中でも、わたしが行うべきことや行った方が良いことがあるはずなので、それを見つけていく。その一つとして、義肢装具士育成に対する教授方法について勉強し、おそらく確立はされていないことが予想されるので、「教授方法の研究開発」というテーマで、「初心者のための義肢装具学の学習方法の開発」や「モチベーションが低下した学生へのエンカレッジ教育方法の開発」などに取り組む必要があるかもしれない（そういうことをやってみては、というアドバイスをいただいた）。

【成果・評価】

まだ1年目であるため、比較するものもなく、成果は実感できていない。

【目標】

- ・義肢装具士育成に対する教授方法の修得。⇒教育方法の体系化、可視化
- ・学生のモチベーションを維持し、国家試験の合格率を上げる。
- ・義肢装具士が活躍できる場を広げ、学生たちに広める。